

恒例 共済バスハイクに26名が参加

馬籠や夕森溪谷で楽しい一日を過ごしました

春日井民商だより

春日井市ことぶき町一八三
☎八一一一四八二一
FAX 八一一九七五六



十月二十六日(日)、

毎年恒例の共済会バスハイクを実施して26名が参加しました。

出発した時は予報どおり雨でした。

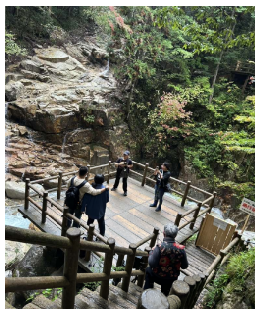
それでも馬籠宿にいたとたんに雨があがり散策。まごめや五平餅作り体験、昼食をとりました。五平餅作りは一人一本ずつ餅をこねるところからはじめて炭で焼いて完成。時間はかかりましたが、それぞれがおいしくいただきました。



焼いている間は皆さん会話で盛り上がり大変楽しそうでした。(よかったー)

滝のある夕森溪谷を散策しました。ここも傘をささず杖かわりにして歩きました。

最後の目的地はちこり村で栗きんとんの仕上げの絞り体験です。各自の力加減で形がまちまちでしたが食べれば美味はいいしよだー(美味しいサイコー)



結局なぜか雨が降っていたのはバスに乗っている時だけでほぼ傘いらずでトラブルもなく帰途に着きました。ご苦労様でした。

共済理事長 鍛冶進一

山は朝のうち霧が出ていて、峠を歩きながらも心が癒やされました。北支部 Aさん せっかく串に刺した五平餅を炭火の上に落としたり予想外のこともありましたが美味しくいただきました。竜神の滝ではマイナスイオンをいっぱい浴びよく食べて良く歩き楽しい一日でした。

西支部 Bさん

天気も味方して、雨に濡れることもなく、秋の爽やかな空気・景色を満喫して大満足でした。明日から、家のご飯作りが待っています。ガンバロー！

西支部 Cさん

十月二十四日(金)

社保協自治体キャラバンが行われる

愛知県社会保障推進協議会が毎年、県内の全自治体を対象に行っている自治体キャラバンが24日、春日井市との話し合いを行いました。春日井市側からは、保険医療年金課・生活支援課など9つの課の課長などが出席、キャラバン隊は23名の参加でした。

自治労連の高木団長の挨拶からはじまり、その後、社保協の澤田さんより介護・保険料の繰越基金についての質問があり「介護保険料を引き下げてほしい。介護保険料は高いが給付は限られている。市民目線で行動を行ってほしい」

急募！ピンゴゲームの景品が足りません
ビール券や商品券、洗剤など景品にできるものの提供にご協力ください



民商まつりチャリティーコーナーへ 物品提供にご協力ください

11月16日(日)に実施予定の第17回民商まつりで今回も『東日本大震災・原発問題・福島を忘れない』をテーマにチャリティーコーナーを設けます。不要になった品物の提供にご協力をお願いします。古着・使用済みの陶器類等は扱いません。

という要望がありました。また、給食費用無償化・生活保護について質疑などがありました。国保については春日井民商から「国保加入者の18歳未満の均等割の減免を検討してほしい。ささえーるなどに使う総額は1億2500万、均等割を減免するときにかかる費用は2000万と聞いている。交付金の使い道を考えれば実現できるのではないか」との要望したのに対して、保険医療年金課の吉村課長は「検討はしていないので費用がどの程度かかるかは計算していない。県統一でのことなので市単独の減免は考えていない」と回答がありました。それに対して「保険料の統一化は6年後に『検討』することになっているだけで統一するとは決まっていない。加入者の事を考えれば子供にはかけないでほしい」「大府市などでは、9割減免などが行われている。ぜひ研究・検討してほしい」という意見も伝えました。

毎月15日までの会費集金にご協力をお願いします

会計

山崎孝亀